

夏本番はこれからですが、今年も暑い夏となりそうです。さて、本紙は年4回の発行となったこともあり、今回は一足早く秋の装いでお届けいたします。紙面では、市民茶会やいけばな展、お月見会など、秋に開催予定の催しを中心にご紹介しています。ぜひ早めにご予定いただき、実り豊かな「文化の秋」をお楽しみください。

2025豊橋文化祭 10月→11月

文化祭開会記念式典を開催します。

入場無料
(要・整理券)

10月、11月は豊橋文化祭月間です。市民茶会やいけばな展をはじめ様々な文化団体の皆様による発表会等が開催されます。9月27日(土)には、豊橋文化祭の幕開けとして開会式典と記念公演を行います。また、令和7年度豊橋文化賞、豊橋文化奨励賞等の表彰を行います。

■日時／令和7年9月27日[土] 午後2時開式

■会場／豊橋市公会堂

■記念公演／豊橋吹奏楽団

▼内容／「豊橋文化賞および豊橋文化奨励賞表彰」「地域文化振興活動功労賞および郷土文芸作品表彰」「記念公演」 ▼入場料／無料(要・整理券) ▼整理券配布／9月1日から豊橋市民文化会館、穂の国とよはし芸術劇場1F窓口、豊橋市役所 文化課にて配布します。▼問合せ／豊橋文化振興財団(☎0532・39・5211)

秋の市民茶会のご案内

■と き／[前期]＝令和7年10月5日[日]

[後期]＝令和7年10月26日[日]

■会場／豊橋市三の丸会館 和室・千切庵

■参加流派／5日[日] 裏千家今和会、宗偏流豊橋支部

26日[日] 茶道宗偏吉田流、表千家清和会

▼茶券／前売1席700円、当日は1席800円です。※前期と後期で茶券が異なります。また、当日は総合受付で整理券と引き換えが必要です。 ▼茶券販売／豊橋市三の丸会館、豊橋市民文化会館、穂の国とよはし芸術劇場、各参加流派でお求めいただけます。 ▼その他／和室、千切庵とも椅子席の用意もございます。 ▼問合せ／豊橋文化振興財団(☎0532・39・5211)



春の市民茶会の様子

豊橋総合いけばな展のご案内(秋)

■と き／令和7年10月18日[土]・19日[日]

■会場／豊橋市民文化会館リハーサル室

豊橋華道連盟に所属する9流派の合同いけばな展です。出色の作品群をどうぞお楽しみください。

▼会期／令和7年10月18日[土]・19日[日] 午前10時～午後4時 ▼会場／豊橋市民文化会館リハーサル室

▼出瓶団体／天生流、嵯峨御流、華道家元池坊豊橋、小原流、真生流、日本生花司松月堂古流、花芸安達流、南宗流、日本華道松月(順不同) ▼入場料／無料 ▼問合せ／豊橋文化振興財団(☎0532・39・5211)

豊橋市民文化会館展示室の工事に伴いリハーサル室での開催となります。

入場無料



春のいけばな展の様子

第52回 豊橋市民お月見会

毎年恒例の豊橋市民お月見会を開催いたします。お月見会はその昔、中国の風習をまねて上流社会で宴が催されたのが始まりと言われています。日々の憂さを忘れ、のんびりと月見の宴をお楽しみください。

■と き／令和7年10月6日[月] 午後5時～午後8時

■ところ／豊橋市三の丸会館(豊橋公園内)

FIVE GLOW RECORD 松橋貴さんによるギターのミニ演奏会を開催します。

「月」をテーマにした川柳・俳句・短歌を作ります。入選作は後日表彰し作品集に掲載します。当日はミニ演奏会もお楽しみいただけます。ふるってご応募ください。

▼部門／川柳の部、俳句の部、短歌の部

▼投稿票／豊橋市三の丸会館、豊橋市民文化会館、穂の国とよはし芸術劇場で配布

▼投稿期間／10月6日[月]～10月12日[日]

▼投稿方法／期間中、投稿箱を三の丸会館内に設置します。期間内に詠まれた作品を投稿箱にお入れいただくか、官製ハガキで郵送してください。三の丸会館現地録

みでなくても可。

また、右記QRコード又は、三の丸会館HPからも投稿可能です。

▼立札茶席ご案内／立札茶席は午後8時まで延長して営業します。抹茶一服(お菓子付き)を600円で提供します。

ミニ演奏会 FIVE GLOW RECORD 松橋貴さんによる

ギターのミニ演奏会を開催します!

午後6時頃～、午後7時頃～の2回の予定

【昨年特選作品ご紹介】

(川柳)老介護優しい月に癒される

(俳句)妻が焼くクッキー一句ふ良夜かな

(短歌)月に向け蹴りだすスケボで飛ぶ君は大人の前のうさぎの化身

竹内そのみ

竹澤克児

神野まり子



応募フォームはこちら→

豊橋市表彰について

豊橋市は、今年度の市勢功労者および教育、スポーツ、文化表彰の対象者をそれぞれ発表しました。文化表彰では3名1団体が選ばれ、8月1日に豊橋市公会堂で行われる市制施行日記念式典で表彰されます。

【文化振興賞】

豊橋市の文化振興に尽くした次の3名と1団体が選ばれました。

■望月昭さん

ヘリテージマネージャーとして、市内建造物の登録文化財申請や修理を行うとともに、文化的建造物の魅力を積極的に市民に伝えるなど、文化財の保存と活用に貢献されました。

■熊谷宗光さん

豊橋で活動する表千家茶道の清和会2代目会主として永年にわたり活躍し、研鑽に励まれるほか、市民茶会への参加および伝統文化こども教室の茶道講師を永年務めるなど、茶道文化の普及、後継者の育成に尽力しています

■鈴木直己さん

テレビ番組の音楽制作を中心に作曲家として活動しながら、市民講座や小学校等の特別授業の講師を務めるとともに、市民館等でのコンサートに定期的に出演するなど、地域の音楽文化振興に貢献されました。

■三河太鼓美友会

永年にわたり太鼓団体として活動し、豊橋まつりや豊橋和太鼓フェスタ等大規模なイベントのみならず、地域の催しや老人ホームへの慰問活動等も積極的に行うなど、邦楽文化の普及・振興に貢献しています。

市制施行日記念式典

日時／令和7年8月1日(金) 午前10時～

場所／豊橋市公会堂

内容／10時～ 合唱：豊橋少年少女合唱団、10時15分～ 市長式辞、市議会議長挨拶、10時30分～ 来賓祝辞、来賓紹介、11時15分～豊橋市表彰(市勢功労)・豊橋市教育・スポーツ・文化表彰、11時30分～アトラクション(独唱 田辺菜美子)

その他／どなたでもご参加いただけます(事前申込不要)

豊橋市民文化会館

2025年8月1日

多目的室がオープン! ダンスやフィットネスなど大ぜひご利用ください。



最大定員70名

豊橋市民文化会館では、改修工事に伴い旧第5会議室が多目的室としてリニューアルオープンします。広々としたスペースに大型鏡とスピーカーを備え、ダンス練習やフィットネス利用、演劇、舞踊の稽古などにご利用いただけます。ぜひ、ご利用ください。詳細は、豊橋市民文化会館TEL.0532-61-5111まで。



常務理事あいさつ

この7月より常務理事に就任いたしました古池弘人と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

豊橋市は美しい自然と温暖な気候に恵まれ、歴史や文化を色濃く残した都市です。地域の文化芸術活動も多岐にわたる分野で活発で、また、それら文化芸術を愛する市民の方々がとても多い街だと感じています。

そのような中で、豊橋文化振興財団は、前身である豊橋文化協会として設立され、長年にわたって豊橋の文化振興の役割を担ってまいりました。

これまでの活動を礎として、当財団の目的である「文化・芸術の振興に資する事業を行い、個性豊かな魅力ある市民文化の創造と伝統文化の振興発展に寄与」の一層の実現に向けまして努めてまいります。

今後も豊橋市をはじめ関係団体や企業との連携・協力のもと、文化芸術の振興と様々な文化芸術の発信を行い、皆さまの生活の向上と「文化がみえるまち」の理念の実現に向けて、力を注いでまいりたいと考えております。

当財団の事業活動につきまして、ご理解をいただき、なお一層の皆さまのご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

今号の一枚

森田靖久



題名
《紫色の転生～Howling～》
182×190センチ
キャンバス、アクリル絵の具

自宅の庭を描きました。10年以上前の引っ越しの時、猫がモグラを追いかけていたのが田舎らしく印象的で、合わせて描いたものです。

【展覧会情報】

森田靖久展
日時／7月1日(火)～27日(日)10時～18時(最終日は16時まで) 会場／アートエジギャラリー(豊橋市向山西町3-2 東海フレーム2F)

気まぐれ VOL.20

プチ旅

橋口五葉と鹿児島

旨いもん

斧路朱音

——吾輩は猫である。名前はまだない。どこで生れたか頼と見当がつかぬ。何でも薄暗いじめじめした所でニャーニャー泣いていた事だけは記憶している。一で始まる明治の文豪・夏目漱石のベストセラー《吾輩ハ猫デアル》は、本好きや猫好きの諸氏だけでなく広く一般によく知られている。しかし、初版本からその装幀をデザインしたのが、橋口五葉だということはあまり知られていない。なぜ彼が担当することになったかという、五葉の長兄が漱石の教え子だった縁で、白羽の矢が立ったという。

今回の旅は、五葉の古里である鹿児島を訪ね、近代装幀文化の草分けであり、「新板画」の旗手として活躍した彼の作品群を見分しつつ、B級グルメをつまみ喰いしようという魂胆である。東海道、山陽、九州の各新幹線を乗り継ぎ(途中、博多駅構内で《丸天うどん》で昼食)ながら<鹿児島中央駅>に降り立った時は、既に夕刻。駅前から路面電車で揺られ<天文館>で下車して宿に入った。

まずは喉の乾きを潤そうと天文館アーケードに繰り出し『むじゃき本店』で、《白熊》のペビーサイズをオーダー!フルーツや豆類など色とりどりにデコレーションされた鹿児島名物のかき氷を運んできたウエイトレス、手慣れた口調で「真上からご覧ください〜い。白熊の顔になっております〜」と解説する。かき氷をスプーンで崩しながら今宵の晩飯に思いを巡らす…『やぶ金』の《かつ井》や

『末よし』の《うな井》も脳裏に浮かぶが、ここはやはりキャベツたっぷり《鹿児島ラーメン》の方向で検討することにした。『豚と



る」や『こむらさき』などあまた名店への想いを振り払い、向かった先は天文館公園脇にある『小金太』。赤い暖簾をくぐるとカウンターは、ほぼ満席状態だったが、奥の方に空席を見つけて止まり木を無事確保。店員を呼んで《ラーメン(SSサイズ)》に《半チャーハン》のセットを注文…テーブル上に置かれた大根のお新香をつまみながら料理を待つ。しばらくすると小振りの井ぶりに盛り付けられたラーメン、次いでチャーハンが着井!まずは中細麺をもらやし干切りキャベツと一緒に持ち上げて頬張る。野菜の甘みが溶け出したあっさりスープが疲れた胃袋にやさしく、ショウガの効いたチャーシューも旨い!チャーハンは玉葱の甘みが特徴的で、どこか懐かしい味だ。

次の日は朝から夕方まで「鹿児島市立美術館」で開かれたく作品見学会に参加。五葉が初期から晩年までに制作した日本画をはじめ、油絵や装幀デザイン画など幅広い分野にわたる作品群を美術史家・岩切信一郎氏の案内で、丸一日をかけてじっくり鑑賞。その偉大な業績を大別すると、前半期はブックデザインなどによる「アール・ヌーボーの日本スタイルの確立」であり、後半期は新時代の浮世絵とも称される「新板画」の刊行であろう。とりわけ復刻版画240図に解説をつけ、装幀などすべてに携わった集大成ともいえる『浮世絵風俗やまと錦絵』は今でも第一級の浮世絵研究書として、評価が高い。



※「橋口五葉のデザイン世界」展は、碧南市藤井達吉現代美術館にて開催(7月23日～8月31日)。会期中「オリジナルサコッシュ」や「猫缶バッジ」(8種)のガチャガチャマシンも登場!

催し物スケジュール 8-10月

※この予定表は予告なしに変更になる場合がありますので、事前にお確かめください。入場料は前売料金。

市内文化団体主催および豊橋文化振興財団が後援する催し物を中心に掲載しています。掲載のご希望は、問合せ先までご連絡ください。

8月

3日(日)	令和7年度(創流119年)日本壮心流全国剣詩舞道大会 時間/10時〜 会場/アイブラザ豊橋大ホール 入場料/無料 AYAMI BALLET STUDIO Studio Performance Allongé 2025 時間/15時〜 会場/穂の国とよはし芸術劇場主ホール 入場料/1,000円 内容/クラシックバレエ小品集&創作バレエ作品の発表
8日(金)	第809回邦楽鑑賞会 時間/14時〜 会場/豊橋市公会堂 入場料/無料 内容/財団加盟邦楽団体による発表会 豊橋ユースオーケストラ 第26回定期演奏会 時間/14時〜 会場/ライフポートとよはしコンサートホール 入場料/一般1,000円、高校生以下無料(要・学生券) 曲目/ドヴォルザーク:交響曲第8番 他 指揮/鈴木良輔、西澤慶典、川田悠人
11日(月・祝)	日曜短歌会 時間/13時〜 会場/豊橋市民文化会館第6会議室 伊藤民謡会ゆかた会 時間/10時30分〜 会場/豊橋市公会堂 入場料/無料 内容/民謡歌唱、合唱、合奏、伊藤陽扇ショー
17日(日)	水曜短歌会 時間/13時〜 会場/豊橋市民文化会館第6会議室 第58回 東三民踊まつり 時間/11時〜 会場/穂の国とよはし芸術劇場主ホール 入場料/無料 内容/古い民踊から新しい舞踊まで40余曲を披露
20日(水)	team GAKU 夏 live&show 時間/17時30分〜 会場/豊橋市公会堂 入場料/指定席5,000円、自由席3,000円、U18(自由席)2,000円 内容/ミュージカルショー、歌や特技のコンテスト、フラッシュモブなどのステージ スペシャルゲスト/福井晶一
24日(日)	

9月

5日(金)	第810回邦楽鑑賞会 時間/14時〜 会場/豊橋市公会堂 入場料/無料 内容/財団加盟邦楽団体による発表会
6日(土)	裏千家六日月会釜 時間/10時〜 会場/豊橋市三の丸会館 料金/1,000円 担当/廣田宗桂 茶道クラブ月例茶会(担当:松尾流) 時間/10時〜14時 会場/豊橋市三の丸会館 入場料/一般750円、会員650円(事前予約制)
7日(日)	第31回 東三河カラオケ選手権大会 時間/9時〜 会場/豊橋市公会堂 入場料/無料 内容/東三河カラオケ連合会会員による発表 K☆STAR Dance Studio Show Case vol.8 時間/13時〜17時〜 会場/穂の国とよはし芸術劇場主ホール 入場料/前売2,500円 内容/地元ダンサーと東京プロダンサーによるジャズダンス公演
14日(日)	宵待月の箏のしらべ 時間/12時30分〜 会場/豊橋市三の丸会館 入場料/無料 内容/お箏サークル箏こでまりによる発表会 金井ゆかり&野畑さおり 二台ピアノの響演VOL.3 時間/14時〜 会場/穂の国とよはし芸術劇場アートスペース 入場料/一般2,500円、学生1,500円
21日(日)	東陽ふれあい音楽会「オカリナの音色で癒されて」 開演/10時〜 会場/東陽生涯学習センター 参加券/500円 出演/鈴木明(オカリナ)、前川幹子(ピアノ)
24日(水)	2025豊橋文化祭 開会記念式典 時間/14時開式 会場/豊橋市公会堂 入場料/無料(要・整理券) ※詳細は1面へ
27日(土)	

10月

1日(水)	第57回衣装美術展・..... 5日(日)まで 時間/9時〜17時 会場/豊橋市民文化会館リハーサル室 入場料/無料 内容/衣装作品(掛軸、屏風、額等)約80点の展示 一般財団法人 小原流 みんなの花展・..... 3日(金)まで 時間/10時〜16時30分 会場/CAFE&GALERIE ちろる庵 入場料/無料
2日(木)	第811回邦楽鑑賞会 時間/18時〜 会場/豊橋市公会堂 入場料/無料 内容/財団加盟邦楽団体による発表会
3日(金)	秋の市民茶会(前期) 時間/9時30分〜15時(予定) 会場/豊橋市三の丸会館 呈茶券/700円(1席・前売) ※詳細は1面へ 令和7年度 豊橋吟剣詩舞道大会 時間/10時〜 会場/豊橋市公会堂 入場料/無料 内容/豊橋市内6流派250名による詩吟、剣舞、詩舞の発表 豊橋技術科学大学吹奏楽団 第41回定期演奏会 時間/14時〜 会場/ライフポートとよはしコンサートホール 入場料/無料 内容/1部「クラシック」、2部「ディズニー」、3部「ポップス」の3部構成
6日(月)	豊橋市民お月見会 時間/17時〜 会場/豊橋市三の丸会館 ※詳細は1面へ 第53回 チャリティー発表会 歌と踊りの祭典 時間/8時50分〜 会場/豊橋市公会堂 入場料/無料 内容/歌謡アカデミー 21による歌と舞踊の発表 豊橋ウインドアンサンブル 第37回プロムナードコンサート 時間/13時30分〜 会場/ライフポートとよはしコンサートホール 入場料/無料 内容/ポピュラーミュージックをメインとした吹奏楽の演奏会
13日(月・祝)	花柳こども舞踊教室発表会 時間/11時〜 会場/豊橋市公会堂 入場料/無料 内容/舞踊教室、幼稚園児、小・中学生による発表会 第22回 東三河童謡唱歌のつどい 時間/13時〜 会場/豊橋市公会堂 入場料/無料 内容/東三河地区の童謡唱歌等の愛好者10団体によるコンサート
14日(火)	水曜短歌会 時間/13時〜 会場/豊橋市民文化会館第6会議室 MOA美術館 豊橋児童作品展・..... 19日(日)まで 時間/9時〜17時 会場/豊橋市美術館 入場料/無料 ※最終日は16時まで 内容/豊橋市内の小中学生を対象とした、絵画と書写の作品展。優秀作品の展示 東陽ふれあい音楽会「西垣恵弾ヴァイオリンライブ」 開演/10時〜 会場/東陽生涯学習センター 参加券/500円
15日(水)	豊橋総合いけばな展・..... 19日(日)まで 時間/10時〜16時 会場/豊橋市民文化会館リハーサル室 入場料/無料 ※詳細は1面へ 日曜短歌会 時間/13時〜 会場/豊橋市民文化会館第6会議室
18日(土)	第4回前川健生テノールコンサート〜あいのうた〜 時間/15時〜 会場/穂の国とよはし芸術劇場アートスペース 入場料/3,500円 予定曲目/忘れな草、カタリ・カタリ 他
19日(日)	

26日(日)	秋の市民茶会(後期) 時間/9時30分〜15時(予定) 会場/豊橋市三の丸会館 呈茶券/700円(1席・前売) ※詳細は1面へ 島岡里梨香(マリンバ)&水越海翔(ピアノ) デュオリサイタル 時間/14時〜 会場/穂の国とよはし芸術劇場アートスペース 入場料/一般3,000円、高校生以下2,500円 内容/モーツァルト、ラヴェル、ピアソラなどの楽曲を演奏 第39回豊橋市長杯年令別歌謡選手権大会 時間/9時15分〜 会場/豊橋市公会堂 入場料/無料 内容/豊橋市民歌謡協会会員によるカラオケ大会 第56回合唱祭・第26回三遠南信文化交流「合唱の集い」 時間/12時30分〜 会場/ライフポートとよはしコンサートホール 入場料/1,000円 内容/豊橋合唱協会に加盟する合唱団10団と、浜松合唱連盟・飯田下伊那合唱連盟による合同演奏会 東陽ふれあい音楽会「歌のタイムマシン〜歌で綴る明治・昭和・平成・令和〜」 開演/10時〜 会場/東陽生涯学習センター 参加券/500円 出演/喜多見ちよwith zimmer555 喜多見ちよ(ヴォーカル)、鈴木直己(ピアノ他)
29日(水)	

2025 伝統文化こども教室

今年も、地域の文化団体の先生方のご協力のもと、伝統文化こども教室を開催いたします。日本舞踊から三味線など9講座と連携企画として3講座を開催いたします。一部講座は、引き続き参加者を募集しています。詳細は、以下のホームページからご確認ください。

特設ホームページをオープン!

<https://dentobunka-kids.com/>



豊橋市三の丸会館 呈茶料の改定について

いつも三の丸会館 立礼茶席をご利用いただき、誠にありがとうございます。このたび、原材料費の価格上昇等に伴い、誠に心苦しい限りではございますが、呈茶料を下記のとおり改定させていただくこととなりました。ご利用の皆さまにはご負担をおかけいたしますが、今後もよりよいおもてなしに努めてまいりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

(菓子付)
1席 550円 → 600円
11枚綴り券 5,500円 → 6,000円
(抹茶のみ)
1席 200円 → 250円

星野眞吾・高畑郁子遺品展

会期 8月3日(日)〜28日(木) 10:00-18:00
会場 アートエিজギャラリー

日本画家の高畑郁子先生が逝去され、2年が経過しました。自宅に残されていた遺品から、伴侶であった星野眞吾と高畑両氏の作品と愛蔵品を紹介する展覧会が豊橋市内のアートエিজギャラリーで開催されます。同展はそれらの作品や遺品を頒布し、その厚志を豊橋市美術館の「星野眞吾・高畑郁子美術振興基金」に積み立てることを目的としています。なお、同基金は3年に一度豊橋市美術館で開催している全国公募展「トリエンナーレ豊橋 星野眞吾賞展」の運営および賞金に活用されています。

風景画や絵皿など、両氏の珍しい作品も展示されますので、ぜひご覧ください。

アートエিজギャラリー (豊橋市向山西町3番地2)
電話0532-55-9988 8/13〜8/17はお休み



吟行会記念写真 2025/05/21



文化短信

▼豊橋文化短歌会
吟行会 五月二十一日(水)
豊川稲荷(妙厳寺)
お稲荷に願ひ始めし商いに色々ありし二十年かな 彦坂石転木漏れ日のきつねの小径たりり行けばゴンはなかと遊んでるか 鈴木れり子
人々に撫でられ袂られ大黒像はたうたう石の塊に戻る 室澄子
妙厳寺の人のまばらな平日が猫の眠りを深くしてゆく 丹羽智子

電柱の(へいなり)近道とふ貼りに紙に導かれゆく総門までを 洲淵智子 薫風の千本幟電狐塚あまたの祈り境内に満つ 池田あつ子 ダキキ天はをみななれば安産を祈願し賽銭すこおしはつむ 宇佐美幸枝 五色紐をたどれば菩薩の手のひらにオンアロリキヤンワカ豊川稲荷 夏目伊代子 総門のけやきの板に手を置いて千年前の人を感じろ 杉本糸のぼり旗のはためき招く霊狐塚奥へ行くほど異世界めいて 内藤よし胡 子らの幸祈り通いし日の杓はるか新法堂は白くかがやく 長谷川公代	ナギの木に雄と雌とがあると聞く花満開の太木の下 河合美智子 狐さん首に化けて吟じてよ憑かれて語る言の葉もなし 村上 充 六月小曜歌会 暇そうな老いの友達よび止めて直ぐに話題の尽き無言劇 彦坂石転 別れの日辞令交付に涙する桜五分咲きさあ前を向こう 杉本 糸 人が好き歌詠み始め気づきしことふるまひひとつに物語見る 室 澄子 ご飯炊く甘い香りにつつまれて極小の平和味わいており 夏目伊代子 後戻りできないことを決めしうち温き布団に潜りて眠る 内藤よし胡 会場に少年剣士の気迫聞き結わう目印の紅白ゆれる 藤井正子 断捨離で捨ててしましし言葉の束の中から飛び立つ蝶あり 真造富久代 彼の人はつたなき吾の詠草に新しい風吹きこみくるる 鈴木れり子 カーポートより落つる雨音リズミカルに二拍子奏で朝のあいさ 原田敬子 喉元を粥はやさしく下りてゆきからだに浸みる術後二日目 伊藤はつあ 阿弥陀とは誰かと問いたる吾を見る青年僧の澄んだまなざし 長谷川公代 「やまんばはぐるぞのうた」を心楽しくて「みんなのうた」を心待ちする 河合美智子	六月日曜歌会 深いさぎよしそれはそれとて花のこころ五臓持つ身の散れぬ哀しみ 岡田宏子 こまごと葉を挟む赤毛のアン明日もあれば明後日もある 小池保利 四人連れ湯めぐりしては楽し 河合澄子	くも迫る時間にくつろぎ遠く水のごと流るる時を堰き止めよ水城に別れし汝が影のため 丹羽智子 甲状腺がん裁判の原告のうらにひとひら桜流れる 宇佐美幸枝 蟻巻は蟻に守られ今年また色重ね付く薔薇のつぼみに 内藤よし胡 今年からカーネーションの白を買ひさびしさの束抱く母の日 池田あつ子 藤色のブラウス夫は買ひくれぬ週に二回のリハビリの吾あに 河合美智子	▼市民俳句会 第六八三回句会 四月六日 鈍色の空に辛夷の風自在 佐藤英子 うつうつと一日過ぎゆく菜種梅雨 坂部靖子 胎内の秘仏の美し御開帳 篠田和代 手鉢鉢こぼるるほどに花の塵 加藤美津子 測量の杭は朱の色雁帰る 大河美智子 雁ゆくやフーテン映画観て和む 後藤青海人 晩年の刻はゆるやか雁帰る 河合澄子 第六八四回句会 五月四日 コップ酒地球儀回し春惜しむ 後藤青海人 恙無く暮れて憲法記念の日 高橋良子 風光る穂の国にあるモノの庭 杉浦雅光 春なれや野に出で唱歌口遊む 後藤英子 日蔽ひの風に根を張り茄子の苗 篠田和代 刺繍糸選ぶ時間や春の虹 坂部靖子 花フェスタ高き低きに蝶の舞 加藤美津子 春時雨帷巾掛けの長廊下 河合澄子 第六八五回句会 六月一日 山水の掛軸を背に冷奴 後藤青海人 走り梅雨三日を留守の草の丈 佐藤英子 まだ誰れか起きてゐるらし水を見る 大河美智子 パレットに緑あふるる柿若葉 坂部靖子 響鏝とロゴの英字の夏帽子 篠田和代 温暖化男も使ふ日傘かな 杉浦雅光 退院の夫と寄り添ふ日傘かな 加藤美津子 流れゆく雲を見てある麦の秋 河合澄子
---	--	---	--	---